

# 旧マッケンジー住宅再生活用事業

～未来に残す素晴らしい文化財～

寄附目標額 300,000千円



## 1. 事業概要について

旧マッケンジー住宅は、静岡市名誉市民第1号であるエミリー・M・マッケンジー夫妻の居宅として建築されました。

著名なヴォーリズ建築の一つであり、当時の意匠をそのまま残している貴重な建物であることや、見た目の美しさから人気が高い建物です。

築後80年が経過し、老朽化が著しく、耐震化と共に大規模改修が必要となっています。

## 2. セールスポイントと独自性

- ①マッケンジー夫妻は、夫のダンカンが日本茶の輸出のパイオニアとして静岡県特産の茶の輸出に貢献し、妻のエミリーは私財を投じて社会福祉の向上のために尽くしました。
- ②ヴォーリズ建築は、アメリカ合衆国に生まれ、日本で数多くの西洋建築を手がけた建築家のW・M・ヴォーリズの設計です。
- ③マッケンジー夫妻の愛車のキャデラックも保存されています。

## 3. 現状と課題

### 【現状】

建物の老朽化や劣化により**外壁の剥離やクラックが発生し**、屋根や壁面から建物内部に雨水が浸透し**梁などの内部躯体にまで腐食が進行**してしまっている。

### 【課題】

構造上の耐震強度が弱いため建物の長寿命化や**入館者の安全確保**のために耐震補強が必要である。



外壁の剥離やクラック



雨漏りによる梁等の腐食



## 4. ベネフィット

- (1) 10万円 旧マッケンジー住宅の外壁1㎡当たりの修繕  
市HPや現地で修繕箇所のマップ（芳名入り）に掲載し見える化
- (2) 4,785万円、旧マッケンジー住宅の耐震補強  
市HPや現地で修繕箇所のマップ（芳名入り）に掲載に加えて、感謝状贈呈式

### メッセージ

大規模改修を行い可能な限り復元した旧マッケンジー住宅で多くの皆様を迎えたいと願っています。

価値ある大切な文化財を皆さんと共に残していけるようご協力をお願いします。



DINING ROOM